

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	利用者様を主体としたケアができているかどうか、日々会議や申し送りで話合っているが、いざケアの現場になると、職員の都合に合わせた声かけや対応になっていないか、身をもって体験し、振り返る機会を設ける	ユニット職員全員の利用者体験	毎月1名の職員が半日～1日、業務をせず、利用者様と同様にホールで過ごし、利用者様の目線から施設の雰囲気や日課の流れ、職員の声かけ・態度・ケアの内容を観察する。課題をGH会議などで検討し、随時ケアの見直しを図っていく。	6～12ヶ月
2	2	今年度より地域のサロンに利用者様が参加していることもあり、地域の方にもっと施設へ足を運んで頂きたい。	地域の方と一緒に畑作りをし、収穫を祝う	グループホームの畑での野菜作りに地域の方にも参加して頂き、地域サロンに持参したり、一般の方も来所される施設の納涼祭等の機会に収穫した野菜を食べて頂く。また秋の収穫祭に地域の方を招待し、感謝の気持ちを伝える。	6～8ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。